

❀❀❀❀❀❀❀ 歓迎の言葉 ❀❀❀❀❀❀❀

自立した自己をめざして

新入生諸君、入学おめでとう。香川大学の教職員・在学生一同は君たちを心から歓迎します。

君たちにはこれから自立が求められます。例えば、親や家族からの精神的な自立、自立した勉学、経済的自立などをあげることができます。親元を離れて大学生生活を送ろうとする諸君らにとっては、日常生活での困ったことや辛いこと、悲しいこと、寂しいことに自分自身で対処し、解決しなければなりません。これまでのように家族が近くにいないかも知れませんが、自分自身の力で乗り越えてください。若者にとって、悩んだり、傷ついたり、転んだりするのは、決してマイナスばかりではありません。そのような経験をした人は、信念を持つ材料をいっぱい拾えたことになり、立ち上がると強くなります。困難を乗り越えることによって、君たちはひとりの社会人として自立していくことでしょう。

ひとりの社会人として生きていくということは、人々と共生することを意味します。共生は相互の信頼に基づくものであり、信頼を得るためには我われ一人ひとり

が心の豊かさと品格を持たなければなりません。君たちがこれから学ぼうとする専門の学問に加え、それ以外の学問や幅広い知識が諸君らの心の豊かさと品位をさらに高めると思います。私は、新聞と新書本を読むことを薦めます。新聞は毎日読んでください。また、図書館には週に2回は行ってください。図書館は知識の宝庫です。

もうひとつ君たちにぜひしてもらいたいことがあります。それは友だちとの語りです。友だちとの語りは新しい友の発見や人生の友を見つけたりするだけではありません。自分の言葉で意見を表現する場であると同時に、自分自身の意見をより明確にする機会でもあります。友だちとの語りは、諸君の人間的な広がり

と心の豊かさを作ります。本学での学生生活を通して自立したひとりの人間に成長し、心豊かな品格ある香川大学人になることを期待しています。また、われわれ教職員は君たちを全力で支援します。



学長 一井 眞比古



歓迎の言葉

「新入生のみなさんへ」



理事(教育担当)・副学長
阿部 文雄

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。受験勉強から解放され、これから始まる大学生活に対する期待と希望に胸を膨らませていることでしょう。

さて香川大学は、入学から卒業まで、みなさんの学生生活が充実したものになるようさまざまな面でバックアップいたします。まず勉学面では、所属学部の掲げる教育目標を実現するための周到なカリキュラムが用意されています。大学生活の前半は、主として全学共通教育(教養教育)、後半では専門教育を学ぶことになります。教養教育と専門教育は、大学教育におけるいわば車の両輪であり、卒業後の長い人生を専門職業人として活躍する上で、ともに不可欠の要素です。とくに教養教育は、学んでいるときにはなかなか実感できないかもしれませんが、多くの人は、後になって、とりわけ社会や企業等において責任ある立場になって、その大切さに気づいています。



「豊かな人間性と創造性を」



理事(学術担当)・副学長
前田 肇

新入生の皆さん、香川大学への入学を心から歓迎致します。おめでとう。

気候温暖で風光明媚な瀬戸内海に面した高松市に存在する香川大学は、新しい教育基本法に示された「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う」最も適した学びの場です。この大学の快適な自然、自由な雰囲気の中で豊かな情操を養い、多くのすばらしい生涯の友を作ってください。更に学びの場において、自主、自律の精神を身につけ、自分の能力をいっばいに伸ばし、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を目指していただきたいと思います。

香川大学は今、新たな大学憲章を制定し、教育と研究の中心として深い真理の



「人生の地形図を作ろう」



理事(連携・評価担当)・副学長
角田 直人

昨夏、大学時代の同級生の道案内で北アルプスの秘境一雲の平&黒部源流一に遊びました。岐阜県の新穂高温泉から入山、ワサビ平、鏡平、双六岳、三俣蓮華岳、雲の平、薬師沢、太郎平を経て富山県の折立に至る、いわゆる北アルプス裏銀座を山小屋3泊で歩くコースです。8年振りの北アルプス山行であるため、讃岐富士などの低山を一日に2度往復するにわか仕立てのトレーニングで体力を鍛えたものの、脚力に不安を抱えながら飛騨高山経由で落ち合い場所の新穂高ロープウェイ新穂高温泉駅に向いました。

ワサビ平小屋までは旧交を温めながらの道行を楽しみました。翌早朝、鏡平に向かったのですが、途中、秩父沢でルートを失いました。目印の石を見落としたのです。私は初めてのコースですが、ガイド役の同級生は何度も経験した登山道であるにもかかわらず!地形図で現在地を確認し、道を探索すること約15分、ようやくリカバリーできました。

高山登山の楽しみの一つは稜線からの眺望です。しかし、弓折岳から始まり双





また、勉学面以外でも香川大学は、みなさんの大学生活が安全で充実したものになるよう、経済的な支援、生活支援、就職支援、健康面や精神面での相談体制、課外活動に対する支援など、さまざまなサポート体制を用意しています。優秀な成績をあげれば後期分の授業料が免除される特待生制度もあります。各種就職セミナーの開催や個別相談体制など就職活動に対する支援も充実しています。香川大学では、昨年度「キャリア支援センター」を設置し、進路相談や職業観の涵養など、就職支援をより広くとらえたキャリア形成支援に積極的に取り組んでいます。

香川大学は、大学の方針として「学生中心の大学」をめざしており、教育環境の改善・整備にも積極的に取り組んでいます。まだまだ十分でない点もありますが、自習室やトイレ、自転車置き場、ラウンジなど、年々、キャンパスが見違えるように改善されています。また、学生諸君を中心メンバーとした「大学づくり委員会」を設置しており、香川大学をより魅力ある大学にしようという取り組みもあります。新入生諸君にもぜひ参加して欲しいと期待しています。



探究と、その成果の社会への還元を更に促進すべく決意を新たにしています。この中で豊かな人間性と創造性を備え、未来を切り開く、国際的に活動できる人材を生み出すことを目標の1つに掲げています。この人材とは君たち自身であり、これからの香川大学を担う新入生諸君の若き潜在能力に大きな期待をかけ、教職員はその能力を最大限引き出すためにお手伝いしようと張り切っています。

わが国も世界も止まることを知らない急速な進歩を続けています。君たちを取り巻く社会環境も熾烈な競争社会となり、人々は一歩で道徳心を失い、社会性を見失いつつあります。しかし、香川大学に入学した諸君は、公共の精神を尊び、「知」の時代と言われる21世紀を支えるのは自分達であることを自覚し、幅広い知識と教養を身につけて世界に羽ばたいていただきたいと願っています。21世紀のわが国の命運を担う諸君に心からのエールを送りたいと思います。



六岳、三俣蓮華岳に連なる稜線では北アルプスの峰々を見晴らすどころか雷雨の恐怖と付き合いながらの歩行でした。それでも雨雲の切れ目に現れた槍ヶ岳の雄姿は圧巻でした。翌日は天候にも恵まれ、黒部川源流、雲の平を堪能できました。太郎平小屋まで足を伸ばした最後の泊まりで遭遇した沈みゆく夕日は、この山行を締め括るに余り有る光景でした。

登山は私達にいろいろな要素を求めます。壮健な体と周到な訓練、十分な装備、入念なルート調査は勿論ですが、危険を察知できる鋭敏な五感とそれに対処できる知恵・知識も不可欠です。例えば、必須の地形図を読む能力はルートの困難性や迷いそうなルートの予測、正確なりカバリー、エスケープルートの発見など、自分自身の安全を担保します。その上、地形図が読めるか否かは、登山の面白さの次元を違ったものにすると言われてしています。

人生の歩みは登山に例えられます。あなた方の教養・専門知識の深さと経験が地形図の要素だとすると、まず地形図に描く情報を豊富にする必要があります。その上で地形図を的確に読む能力が求められます。学生時代にいかに地形図を充実させ、適宜いかにそれを読解するかであなた方が歩む人生は異なります。地形図の読解力はコツさえ覚えれば何とかなります。ぜひ学生時代に人生を歩むガイドとしての地形図を充実させて下さい。

